

## 災害発生時における災害対応に係る施設利用及び施設管理等について

## (災害対应用途)

第 1 仙台市は、市内で災害が発生し公共交通機関が麻痺した場合、シルバーセンターの一部を、帰宅困難者のための一時避難所（以下「一時滞在場所」という。）として指定管理者から提供を受けるものとする。

## (施設使用範囲期間等)

第 2 仙台市は、シルバーセンターの一部を一時滞在場所として提供を受ける場合は、施設（附帯設備を含む。）は次のとおりとし、範囲は別紙平面図のとおりとする。

- (1) 1 階 アトリウム
- (2) 1 階・2 階 交流ホール
- (3) 3 階 トレーニング室

2 仙台市は、シルバーセンターの一部を一時滞在場所運営のための物資保管場所として提供を受ける施設（附帯設備を含む。）は次のとおりとし、範囲は別紙平面図のとおりとする。

- (1) 地下 1 階 駐車場

3 仙台市は、シルバーセンターの一部を一時滞在場所として提供を受ける場合は、使用期間の上限を災害発生から 3 日間とする。

4 災害等により、前 2 項に定める施設の一部または全部の使用が適わないと認められる場合は、損壊の程度等、施設の状態に応じて、使用できる範囲、期間（以下「範囲期間等」という。）を仙台市と指定管理者が協議のうえ決定するものとする。

5 これらを超えた範囲期間等、管理運営上必要な事項に関しては、指定管理者と協議して決定するものとする。

## (協力要請)

第 3 仙台市は、災害時等に、施設を一時滞在場所として利用する必要がある場合、原則として指定管理者に協力を要請する。ただし、指定管理者は、災害時等において緊急に対応することが必要であると認められる場合は、自主的な判断に基づき、施設を開放し、仙台市に協力する。

## (施設一般利用停止等)

第 4 指定管理者は、第 2 の規定により一時滞在場所として提供する範囲期間等が決定された場合は、範囲期間等に含まれる諸室（以下「使用諸室」という。）の一般利用を停止するとともに、その利用予約を取り消すこととする。

2 指定管理者は、一時滞在場所として提供するため、使用諸室の一般利用を停止する場合は、直ちに次に掲げる対応を行うものとする。

- (1) 一般利用停止期間の当該使用諸室利用予約者に対する連絡及び利用予約の取り消しに係る事務処理
- (2) 一般利用停止期間内の使用諸室の利用予約受付停止及び一般利用停止の周知
- (3) その他施設利用予約者との調整

3 指定管理者は、使用諸室の一般利用停止に伴いその利用予約を取り消した場合、すでに徴収済みの使用料等がある場合には、還付するための手続きを行うものとする。

4 指定管理者は、一時滞在場所として提供するための使用諸室の一般利用を停止した場合においても、清掃、警備等に係る通常の施設管理を行うものとする。

(管理運営等)

第5 仙台市は、シルバーセンターの一部を、一時滞在場所として提供を受ける場合において、原則として指定管理者に、一時滞在場所の管理運営を行わせるものとする。

(必要な物資等の提供等)

第6 指定管理者は、帰宅困難者に対し、可能な範囲で飲料水、食料、トイレ等、必要な物資の提供に努めるものとする。

2 指定管理者は、帰宅困難者に対し、市からの情報やテレビ、ラジオ等で知り得た情報の提供に努めるものとする。

(施設機材等の使用)

第7 指定管理者は、一時滞在場所として施設の使用が開始された場合は、指定管理者の行う施設管理業務に支障が及ばない範囲内で、施設にある電話、複写機、長机その他の機材等を仙台市に無償で使用させるものとする。

2 仙台市は、前項の規定に基づき施設の機材等を使用した場合において、その機材等を破損又は汚損させた場合は、仙台市の責任で修理修復しなければならない。

(施設管理費用)

第8 一時滞在場所として施設を使用する場合における施設管理業務に係る人件費及び光熱水費、電話料等の施設管理費用は、仙台市から指定管理者に支払われる指定管理料に含まれるものとする。ただし、光熱水費、電話料等の施設管理費用について、通常時の施設管理費用と比較して著しく変動した場合は、仙台市と指定管理者で別途協議の上で費用負担を定めるものとする。

(その他)

第9 この覚書に定めがない事項又はこの覚書の履行に関し疑義が生じた場合は、仙台市と指定管理者が協議してこれを定めるものとする。